

成績・偏差値を急激に上げる3つの秘訣

開倫塾

塾長 林 明夫

1. おはようございます。開倫塾塾長の林明夫です。今朝も「開倫塾の時間」をお聴きいただき、ありがとうございます。

館林市で39度以上の高温を記録したかと思えば、台風11号が接近して中国・四国地方で非常に大きな災害が出ています。天候不順で、雨が降ったり風が吹いたり雷が鳴ったりして非常に厳しい状況ですので、どうかお身体には気をつけて頑張ってくださいと思います。

2. 高校野球もそろそろ再開され、予選が続くと思います。本当に暑い中で行われますので、大変だと思います。私は高校野球が大好きなので頑張ってくださいなのですが、8月中旬の非常に暑い中でプレーをすることはとても大変だと思います。高校野球は続けてもらいたいので、8月の一番暑いときにやるのではなく、少し時期をずらして、前の東京オリンピックが行われた10月の初めくらいにかけてやるのも一つの考えだと思います。皆さんはどのようにお考えでしょうか。

3. さて、「開倫塾の時間」は勉強の仕方についてお話をする番組です。この番組をお聴きの受験生の皆さんの中には、自分の行きたい高校や大学はあるが、現在の実力はそれに届いていないので、この夏休みに成績を急上昇させたい・秋にかけて業者模試の偏差値を5ぐらいではなく10や15、できれば20ぐらい上げたいという方もいらっしゃると思います。そこで今日は、受験勉強の本質的な内容として、急激に成績、特に偏差値を上げるポイントをお話させていただきます。

4. ポイントは3つあります。1つは、読解力をつけることです。高校入試や大学入試の各科目の問題は非常に長いため、問題を最後まで読み切れない方がいらっしゃいます。特に大学入試では難関のところほど読み終わらないことがあります。ですから、読解力、文章を読み解く力が必要だと思います。この力がないと、成績がなかなか上がりません。

5. 2つ目は、言葉の数を増やし、語彙力(言葉の力)をつけることです。試験問題には難しい言葉、抽象的な概念がたくさん含まれています。簡単な言葉しか知らない・簡単な文章しか読んだことがない方は、試験で難しい内容の文章を読んだときに、どのようなことが書いてあるのか・どんな答えを出したらよいかがよくわかりません。それができるようにするには、自分の知っている言葉

の数(難しい言葉では、語彙と言います)を増やし、語彙力(言葉の力)を高めることが必要です。

6. 3 つ目は、知識をきちんと身に着けることです。あやふやな知識ではなかなか点数が取れないからです。つまり、成績や偏差値を急激に上げるためには、読解力(文章を読み解く力)をつけること、言葉の数をたくさん増やし、語彙力をつけること、知識をあやふやではなくきちんと定着させる・身に着けることが必要です。

7. では、どのようにして読解力をつけたらよいかというと、答えは簡単で、本をたくさん読むに限ります。試験問題には膨大な分量の文章が含まれ、しかも長いので、それを読み解くには普段から読書をする必要があります。読書の中には、文章を読むという意味で新聞も含まれます。

私は、受験生であろうとなかろうと毎日 30 分間は新聞を読む・毎日 30 分間は本を読むことをお勧めしています。そうすると、読解力が身に着きます。言うまでもなく、30 分間よりは 1 時間のほうがよいです。難しい学校を受けたい方は、読解力がないと対応できません。また、自分が行きたい学校と今の実力の差が激しい方は、読解力が不足している場合が多いです。そこで、1 日 30 分以上新聞と本を読み、できれば夏休みなどは 1 時間以上新聞と本を読む。そうすると読解力が身に着きますので、成績がぐんぐん上がります。

8. 知っている言葉の数を増やし、語彙力をつけるのに一番よい方法は、わからない言葉があったら「気持ちが悪い」と思って辞書を引くことです。国語辞典、漢字(和)辞典、英和辞典などを常に手元に置いて、わからない言葉があったら辞書を引く。これが大事です。

9. 知識をきちんと身に着けるためにも簡単な方法があります。それは、今勉強したこと、今日勉強したことを音読する(声を出して読む)ことです。すらすらとよく読めるようになるまで声を出して読むと、自然と知識が身に着きます。それから、少し難しい言葉は書き取り練習をする。計算や問題は 1 回でやりっ放しにするのではなく、2 回 3 回やって、問題を見た瞬間にパッと答えが出るくらいまでにする。このようにして、知識を定着させる、身に着けることが大事です。

10. 今日は、これから先、高校入試や大学入試を受験する場合、特に自分の今の実力とかけ離れた学校を受験する場合のポイントをお話しました。

新聞や本を 1 日 30 分ずつ読んで読解力をつける。そして、わからない言葉があったら辞書を引く。1 日に 10 語引けば 1 年間で 3650 語、20 語引けば 7000 語、新しい言葉が身に着きます。最後は、音読練習や書き取り練習、計算・問題練習などをして今まで習ったことを繰り返し復習し、きちんと身に着ける。この 3 つを受験勉強の秘訣としてお伝えさせていただきます。